

平成 24 年度

大阪府当初予算 要望に対し府から回答

「平成 24 年度大阪府当初予算に対する要望」(本誌 9 月号掲載) に対して、府から回答がありました。概要を紹介し、(要望項目は下記参照)。

要望項目

図る観点から、保育所運営費負担金を拡充するよう、かねてから国に要望しており、今後とも機会あることに要望していく。

① 地域主権改革による市町村への権限移譲について十分な市町村指導等を実施されたい。

② 児童福祉施設をはじめ福祉施設等の最低基準の条例委任に向けて、現在の基準の引き上げ及び維持を図りたい。また、条例内容の検討にあたっては、関係部会の意見を反映されたい。

③ 福祉のまちづくり条例にある保育施設におけるエレベーター設置について実態に即した条例の改正をされたい。また、事業者の保守点検費用負担の軽減を図られるよう、府独自の補助制度を創設されたい。

保について確認できるもの限り、エレベーター設置を緩和する対応をしている。平成 21 年 10 月の条例改正に伴う効果や影響について、検証を行っていく。

エレベーターの保守点検費用については、他の設備等の維持管理費と同様に、保育所の運営経費であることから、府独自の補助制度の創設は困難。ただし、事業者の負担軽減を

① 権限移譲に伴い、今後とも府内の社会福祉法人への指導に格差が生じないよう、権限移譲当初においては府職員が同行し、技術的な支援を行う。府、政令・中核市で構成する「府・市連絡会」に、各圏域(北摂、河内、泉州)の幹事市を加えるとともに、新たに圏域毎の「ブロック連絡会」を設け、広域調整を行うための整備を行う。

② 社会福祉協議会をはじめ、関係団体の意見を伺った上で、適切な基準を判断していきたい。関係省令が 8 月下旬に公表されたと仮定した場合、条例案の検討を 12 月頃までに行い、パブリックコメントを 12 月中旬から翌年 1 月にかけて実施する予定。その上で平成 24 年 2 月議会において条例案を審議し、同年 4 月 1 日の施行を目指す。

③ 府内特定行政庁とも連携し、施設側の申し立てを受け、市町村の保育担当部局が代替措置による移動の確

東日本大震災支援の 募金について

3 月 23 日付でご協力をお願い致しました東日本大震災被災地支援募金については、9 月 30 日現在で 251 園(団体)より 21,156,601 円のご協力をいただきました。上記金額のうち 2,000 万円については「保育三団体被災地支援募金」口座へ送金しました(本紙 7 月号で掲載)。

残額の 1,156,601 円については、9 月 6 日(火)に開催しました保育部会常任委員会にて、基金として積み立て、今後も予想される様々な災害等への対応や支援募金などに活用させていただくことに決定しました。

なお、これまで支援募金の送金先として設けておりました口座については 9 月 30 日をもって、閉鎖いたしました。

多くのご協力をいただき誠にありがとうございました。

今年、にわか
に降って湧いた
節電の夏。普段
からいかにクー
ラーに頼ってい
たかを思い知っ
た季節となりま
した。しかし、その暑さにまいっ
てしまったのは私の身体だけで
はなく、思いも寄らない場所へ
の影響も。

人間は扇風機の風にあたり、
こまめな水分補給を摂ることが
できますが、例年より高めに温
度設定した事務所で、いつもと
変わらず動き続ける働き者た
ち。コピー機、電話、ファック
ス、そして何台ものパソコン。
そのパソコンが発熱でダウンす
るといふ緊急事態。調べてみれ
ばパソコン内部の温度は 90 度近
く。いくら空冷ファンを回して
いても、取り込む空気が暑いた
め熱が冷めないという悪循環に
陥っていたようです。

パソコンの周りに山積する書
類を整頓し、空気の流れを確保。
60 度台にまで低下。子どもの発
熱以上の「予想外」の事態に、
慌てた一日となりました。

今はなんとか元気に活躍中。
どうかこの原稿を書き終わるま
で、ダウンしませんように。

携帯電話で トピックス作成や メール配信

平成17年から配信を開始した「よい子ネット」も9月で丸6年。携帯電話、パソコン向けのホームページやメールがワイプロ感覚で作成できるので、日常保育の様子、雨の日の連絡、緊急情報、行事のお知らせなど、保育園で



熱心に話を聞く受講生

ご活用いただいています。

8月24日、大阪府社会福祉会館で「よい子ネット操作説明会」が開催され、82人が参加しました。ラジオ

関西が携帯電話での操作説明を行いました。なお、スマートフォン（後述）に関しては管理側の操作対応が完全でないため今回は対応しませんでした。

携帯電話を操作し、「トピックスの作成」や「メールの配信方法」、実際活用されている保育園での事例などが紹介されました。すでに活用されている保育園も、これから活用される保育園も、参考になったのではないかと思います。今後より多くの保育園にご活用いただけるよう、研修会などにも取り組んでいきます。

最近利用者が急増しているスマートフォンでもホームページを閲覧することはできますが、より見やすい

あるべき保育所制度改革を考える

子ども・子育て新システム研究グループ

抜本的な改革で、これまでの保育所のあり方を様変わりさせる可能性がある今回の保育所制度改革には、菊池繁信先生（全国保育協議会・副会長、保育部会・副部長）も、ワーキングのメンバーとして、ご尽力されています。大阪府でも、経営者部会・保育部会合同による子ども子育て新システム検討会を設置し、改革に関する課

題整理、会員に対する動向の伝達や現状認識の徹底などを目的に活動しています。調査研究委員会からもこの検討会に参画しています。また調査研究委員会では、子ども・子育て新システム研究グループを今年度から立ち上げました。前述の両部会の検討会の議論の内容を受けて、子どもや保護者、働く職員、社会全体

にとって、適切な保育所制度となるには、どう改革すべきかを考えています。子ども・子育て新システムの研究については、行政からの資料を精読し、その資料から読み取れる新制度における課題抽出を進めています。今後も、新制度に関する情報を積極的に集め分析し、保育部会や合同の検討会において、少しでも

貢献できるように努めていきたいと考えます。子ども・子育て新システム「中間とりまとめ」でも「子どもは社会の希望であり、未来をつくる力である」とあり、子育ての重要性が改めて認識されています。少子化対策が日本の閉塞感の打破への一つのカギとなることと考えます。まだまだ、制度の細かい点までは決まっておらず、今後の制度の方向性に情報発信ができるような議論を積み重ねていきたいと考えます。（調査研究委員H・S）

画面表示に改善するよう検討を始めています。

保育園がスマートフォンを使って情報配信する場合、現在の携帯電話用の管理画面から操作できますが、「画像ありトピックスの作成及び簡単ログイン機能」が操作しづらい、また操作できないという制約があり、利便性向上のための

バージョンアップの最重要課題としています。（調査研究委員会H・I）

スマートフォンからの操作方法でご不明点などがありましたら、ラジオ関西よい子ネットサポートセンターまでお問い合わせください。

☎ : 078-362-7371
✉ : yoiko@osaka.yoiko-net.jp

ご存知ですか？

誘導用ブロックの設置

平成21年10月、大阪府が福祉のまちづくり条例をバリアフリー法に基づき改正施行したことにより、新設等の場合、視覚障がい者誘導用ブロックの設置に関し、一部用途において義務化されました。保育所（条例で基準適合義務の対象として追加した用途の建築物）については、

①階段、階段の踊り場及び傾斜路の上下端の点状ブロックの設置

②案内設備までの誘導ブロックによる誘導

に関しては設置義務の対象とされています。改正前の条例では、保育所は「児童福祉施設」として、誘導ブロックや点状ブロックの敷設は「福祉のまちづくり条例整備基準」により「最低限守ることが望ましい基準」と位置づけられていました。

詳細については、大阪府のホームページ「移動円滑化基準早見表」（下記URL「早見表」の「多数利用」）をご覧ください。

自然との触れあい大切に ドキドキワクワクお泊り保育

「今」を生きる子どもたち
自らの体験が生きる力に

高槻市

川添保育園



ザリガニ釣れるかな？

「昔は裏山や近くの小川に子どもたちの体験を広げる場所がたくさんありました。今は子どもがワクワクするような自然が近くにありません。しかし、子どもたちは『今』を生きています。昔は良かったなあ…という思いとは別に、そんな『今』だからこそ、一つでも多く、子どもたちとドキドキワクワクできる体験ができればと思っています」と園長先生が話されます。

自らが体験したことが子どもたちの生きてゆく力になつてくれることを願い、自然との触れ合い体験をとても大切にされている保育園でした。

(編集委員 M・K)

高槻市の南部にある川添保育園は、創立27年の保育園です。「一人ひとりを大切に」自ら経験することで生きてゆく力を身につけてほしいとの願いを基に保育をされています。

その一つがお泊り保育。自分で自分のことをすることはもちろん、日常にはないさまざまな経験をするこゝとを目的とされています。

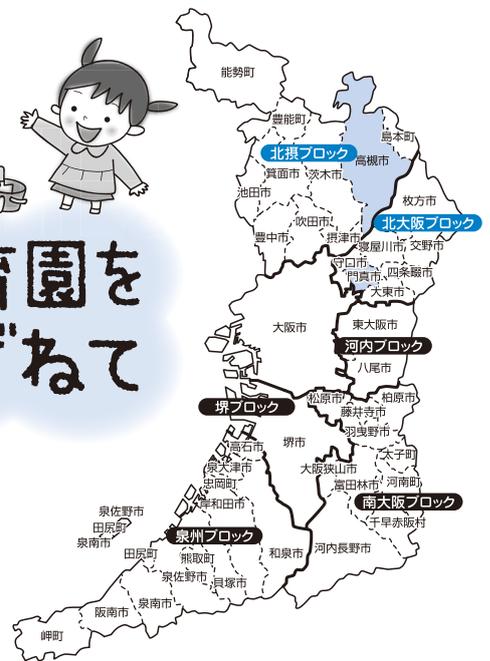
今年のお泊り保育で子どもたちが一番熱中したのが「ザリガニ釣り」。理事長先生お手製の竿に、するめのをえさを付けてザリガニを狙います。水たまりのような場所には、ザリガニの子どもがたくさんいて、そこにえさを垂らすと、もの見事に食いついてくるのか。子どもたちが自分の手で釣り上げたザリガニ。一つの成功体験です。歓声の中、全員がザリガニ釣りに成功して喜ぶ姿が目につきます。

その他にも、沢登りをしながら沢蟹を捕まえたり、山歩きで細い丸太橋を渡ったり…子どもたちにとっては、それはもう興奮する体験ばかり。



保育園を たずねて

435



成21年の公立民営化から3年目のまこと小路保育園は、京阪・門真市駅のすぐ近く、商店街の中にあります。

前号紹介の民営化園と同様、5年間は園での保育内容などを継続する必要がありません。とはいえ、保育内容や保育園運営の「かたち」は日々進歩、変化しています。保育園における地域支援や地域貢献事業は、以前には考えにくいものでしたが、新しい考え方を取り入れる必要もあります。

園では「体力づくり」に

特に力を入れて取り組んでいます。乳児(0歳〜1歳)の体力向上のため、乳児室内の一部を仕切ってハイハイなどが自由に、思い切りできる空間を作りました。乳児の時から一貫して足腰を鍛えられることが期待されます。

幼児の場合は、園庭での遊びを充実させるため、園庭を整備して複合遊具を取り入れました。スペースに余裕があるという利点を十分に活用しておられるようです。

園には男性保育士が3人いて、その1人の先生や女性保育士が、一本歯下駄を教えたり、園児たちが裸足で走り回っていたりと、元気な園児の姿を見ることができました。保育目標の一つである「強くたくましい子ども」を日々目指されています。

門真市の親子絵本ふれあい事業の一環として、余裕スペースで地域の親子が絵本を読む「ほっとるーむ」を設けました。普段は、子どもたちが癒され、季節感を味わえるゆったりとした空間づくりをされています。これらを通し、心豊かな子どもに育って欲しいとの願いを込めておられました。

(編集委員 J・H)



園庭の泥んこ遊び、気持ちいい〜



「ほっとるーむ」でホッと

心豊かに育てほしいと願い 季節感味わえるゆとりの空間

男性保育士まじえ元気な保育
乳児期から一貫した体力づくり

門真市

まこと小路保育園

未来を生きぬく人格の基盤 子どもの生命力・生活力を育む

環境活動と生活力に重点 食育で子どもの心と体を育む

八尾市

ふじ保育園



菜園のトマトはおいしいよ～



お米の収穫

ふじ保育園は、近鉄八尾駅から北へ徒歩10分、社会福祉法人ふじ福祉会が運営する4園の第1園として昭和47年に創立されました。

未来を生きぬく子どもたちの人格の基盤、生命力を育む保育、環境活動と生活力の向上に重点を置いた保育、心と体を育む食育に取り組んでおられます。

「子どもたちの最善の幸福を第一に考える」を法人共通の保育理念として掲げ、年齢にあった丁寧な取り組みをされています。

中でも特筆されるのは菜園活動です。2歳児から就学前の全園児が4年間を通して積極的に取り組みを継続していくプログラムで、2010年度には全国3811園・校の中から「凛々子賞」を受賞されました。昨年は企業の食育支援活動「凛々子ワクワクプログラム」に参加し、トマト作りにチャレンジ。全員で育てることで責任感と達成感を感じ、観察力も身に付くそうです。

また、保護者からも好評の米づくりは今年で5年目。地域の方々の協力も得て保育園の第2園庭で行っています。少し色の違う稲が見えたので園長先生にお訊ねすると、「古代米」を育てておられるとのこと。もみから苗を作り、田植え、稲刈り、脱穀まで、すべて子ども参加型で行い、収穫後は「親子でおいしがりパーティー」をして楽しみます。園長の平井和代先生は、「米の一粒一粒に命があることも知り、多くの人の

の苦労や努力、育てることの難しさや喜び、そして感謝する体験と感謝する心を育てたい」と話されました。

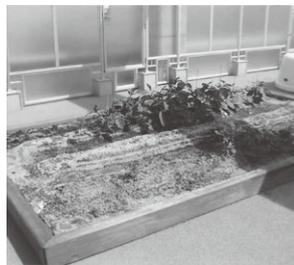
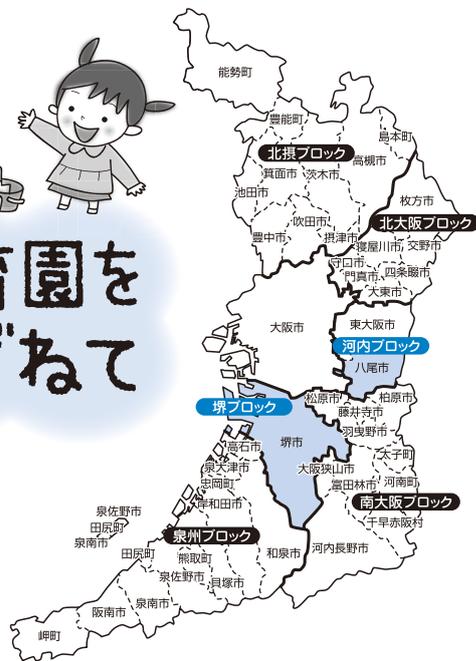
地域に愛され、信頼され、必要とされながら、子どもたちの思い出となる保育を展開されている元気一杯の保育園でした。

(編集委員 S・S)



保育園をたずねて

436



屋上の菜園



広い屋内遊技場

本格的な里山の暮らし体験で 環境を大切にする心育む

子ども菜園を給食に取り入れ
0～5歳児が交流できる新園舎

堺市

アンパス保育園

地 下鉄御堂筋線新金岡駅から徒歩5分、大阪労災病院の近くにあるアンパス保育園は、平成23年4月1日、地域の待機児童解消のため、社会福祉法人あゆみ会によって定員90名で設立されました。

「大地にしっかりと根をほらし、心も体もたくましく」を保育理念に、次の3つの基本方針を掲げておられます。

①愛着たっぷり愛情形成の場として心の成長発達の土台を育んでいけるように

②地域を大切に、地元へ根づいた保育園運営

③全職員が大きな責任のもとで保育園を運営しているという自覚をもつ

また、「よく食べ、よく遊ぶ、よく眠り、意欲を持って生活する」「自分で考え、自分で行動できる」「わたしも、みんなも大切にできる」「よく考え、感情豊かに表現できる」子どもに育つことを目標に保育に取り組んでおられます。

0～5歳まで相互交流の場として活用できる広い屋内遊技場を備えた新しい園舎は、全クラス床暖房、食事への興味、関心を誘いやすい調理室、屋上菜園、プールを設置。

環境を大切にする心を育てるため、4・5歳児は宿泊保育で紀泉わいわい村の茅葺屋根の家、かまど、五右衛門風呂など本格的な里山の暮らしを体験しています。

食育にも力を注いでおり、給食試食会、調理員による保護者向けの給食講習会、子どもたちの栽培した野菜を給食の材料に取り入れるなどさまざまなことに取り組んでいます。

自治会の方々の協力による農業体験、敬老の集いで地域のデイサービスの高齢者との交流など、地域との関わりも大切にされています。

(編集委員 T・S)



防火教育活動表彰
摂津市消防本部よりいただきました！

平成23年3月11日14時46分、東日本において国内最大規模の大地震が発生しました。マグニチュード9.0、そして大津波の被害、福島原子力発電所での放射能漏れの事故は、人への健康被害、農漁業、畜産の被害拡大が懸念されます。テレビや新聞のニュース



● 防災対策について ●

地域、保護者との連携を
強めることが大切

摂津ひかり保育園における
緊急時の「よい子ネット」の活用

防災の基盤となるのは、迅速・正確かつ具体的な状況確認と職員や関係者への連絡・指示系統の確保です。地震などの災害時には、既存通信網での緊急連絡は困難になります。携帯メールやパソコンメールをうまく使えば瞬時に情報を伝達することが可能になります。

この大災害を見るにつけ、もし関西で大震災が起こればと考えるとき、被害をいかに最小限にとどめることができるかが課題です。早朝から夜間まで子どもたちが長時間過ごす保育園は、園児たちを守る安全な施設でなければなりません。保育園で被害を減災することは、保育所保育指針にも記されています。

①日常の安全管理（セーフティーマネジメント）：施設、設備、遊具、玩具、用具、園庭などの定期的な点検が必要です。

②災害への備えと避難訓練：火災や地震などの災害発生に備え、避難訓練計画、職員の役割分担の確認、緊急時のマニュアルを作成・周知を図り、定期的な避難訓練の実施が必要です。

緊急事態には、「よい子ネット」を活用されてはいかがでしょうかでしょう。今般の震災当日、電話が繋がりにくい状態のもと、メールやインターネットは繋がったといわれています。当園の「よい子ネット（園からのお知らせ）」を紹介いたします。

● 3月11日18時発信

〔原文〕14時46分に国内規模最大、マグニチュード8.8*の地震が発生しました。大津波による被害も相当大きいと思われます。被災者の方には心よりお見舞い申し上げます。近畿地方でも震度3が観測されました。いずれ発生するといわれている南海・東南海地震に注意！ が必要となります。NTT伝言ダイヤル171や携帯電話各社の伝言板ダイヤルをご確認ください。大地震が起ると交通網が寸断され、家に帰れず帰宅難民となったりします。帰宅難民になったときのシミュレーションが必要です。保育園でもお子さんのお迎えが困難になる場合があります。「備えあれば憂いなし」今一度ご確認を！

● 翌日12日発信

◎非常持ち出し品チェックリスト（一次持ち出し品・二次持ち出し品）を紹介しました。

◎いざというときのために、家族で防災会議を開きましょうー避難場所の確認や危険な場所、家族が離ればなれになったとき、どこで落ち合いますかー安否確認の

方法を家族で確認しておきましょうと発信しました。天災は忘れたころにやってくるーこの教訓を忘れることなく、被害ゼロを目指し、保育園・地域・保護者の連携を強めることが大切です。

次に台風です。暴風警報などが発令されたとき、臨時休園の措置をとることがあります。その場合も「よい子ネット」でお知らせします。園児数は1000人です。こちらからの一斉送信はしていませんが、保護者がアクセスして確認します。今年、近畿地方に影響があった台風の7月20日と9月3日に台風接近時の「よい子ネット」のアクセス数を紹介します。

| | |
|-------|------|
| 7月19日 | 376回 |
| 7月20日 | 451回 |
| 9月2日 | 309回 |
| 9月3日 | 272回 |

「よい子ネット」の保護者認知度も高くなりました。現在、臨時休園は暴風警報のみが対象となっておりませんが、今回の和歌山県、奈良県における災害では、大雨によって土砂が崩れ、川が堰き止められ氾濫したように、地域によっては、暴



消防署立会いの避難訓練

風・大雨・洪水による危険の度合いが違ってきます。大雨による道路の冠水は、登園・降園時に危険です。たかが雨くらいで…と油断しないよう、摂津市が9月1日「防災の日」に発行した保存版『まさかの洪水に備えてー摂津市洪水ハザードマップ』を市のホームページからダウンロードして、各家庭に配布しました。マップには、各地域の浸水想定状況と避難所が記入されていて、安威川などが氾濫した場合0.5〜1.5mの浸水、淀川などが氾濫した場合4〜4.5mが浸水すると想定されています。危険なエリアを保護者に知っていただくこと、大雨の際は無理をせず、安全を確認してから登園してくださいと伝えていきます。

（編集委員M・H）
※マグニチュードは後に9.0に変更されました。

北大阪

ホテル料理に舌鼓

テーブルマナー研修

8月30日、中之島リーガロイヤルホテルにて、結婚式に出席する場面を想定した「テーブルマナー研修」を開催。申込み開始から5日で定員となる人気ぶりで、150人の参加者で賑わい

ました。

東口房正北大阪ブロック会会長の「受付で園名と氏名をきちんと名乗りましたか？」との問いかけに苦笑いの参加者も。受付の時点からマナー研修は始まっていました。

講師の岡山雅保氏（リーガロイヤルホテル宴会部チーフ）はマナー研修の第一人者。円卓での席順、美しい



講師 岡山雅保氏

座り方、ナイフ・フォークの使い方、スープのいただき方などを説明。「運ばれてきた料理の食べ始めのタイミングは、両隣の人の配膳が整ったら」と説明した後、お待ちかねのコース料理がスタート。前菜、栗のクリームスープ、魚料理：リーガロイヤ

ル名物「牛ローストビーフ」をいただく頃には参加者の顔もほころんでいました。どの料理もとてもおいしく、「研修」の2文字をつい忘れてしまいがちになるほど。しかし、ここでさすが岡田氏から「食べ終わった後のナプキンには、きちんと折りたたむより、ぐちゃっとテーブルに置いた方が、《おいしかったよ》の意味になります」と一言。終始和やかで、おいしく楽しいひと時を過ごすことが

河内

子どもと楽しむ制作活動

制作活動

東大阪市私立保育会研修

9月7日、東大阪市私立保育会保育士研修会が行われました。吹田市民間保育園の保育士11年目として現場での保育経験を生かし絵画の実践研究をされている本田美絵氏を講師に招き、「子どもと楽しむ制作活動」

⑥仕上げは小グループでの共同制作
「秋」をテーマに、前半に作った個人作品を組み合わせてアイディアを相談、協力して決めます。保育の中では子どもたちがしていることを保育士も楽しみながら創作工夫を凝らしていました。それぞれに情景をイメージしながら、「秋の色」「秋の味覚」「秋の遊び」を繰り広げました。
コミュニケーションもスムーズになり、初めの緊張感も笑顔に変わって、ワクワク感が一つひとつの作品となって表現。

旬

「店は玄関見たら判る！」人を迎える姿勢

秋の美り。丹波の黒枝豆、栗、柿、新米…

10月、秋晴れの下での運動会シーズンだが、最近春にやっってしまうところもあるようだ。地元小学校も5月末に。理由は暑い9月の炎天下の練習は子どもにとってもきつからだからだ。まあ、確かに最近の子どもは外で遊ばんし、涼しい屋内でゲームかな？ 私は4月からの子どもの成長を運動会という場で発表することと理解。

私の一日は、全クラスの保育

日誌を見て検印を押して終わる。昔、ある保育士が約2カ月分を書かないまま退職し、大変困っていたから、各クラス担任は保育日誌を提出しないと帰れないこととした。先日の監査でも、このことには感心された。

指摘はゴメン被りたい。

9月の常任委員会は監査報告で久方ぶりに盛り上った。府の検査員の思い違いによる、我々サイドでは考えられない指摘指導に、振り回される立場。今後は常任委員会の毎月の議題に「各市の監査報告」を入れ、私た

最低基準検査が今年度より府から市町村に順次移行する。昔話となるが、堺市が中核市に移した際も、重箱を突つき倒した例もあり。初めて持つ十手だから、使い方を充分理解して欲しい。個人的感覚であれこれ

ちの意見を集約する場をつくる。さて、先日少し早目だが、暖簾を潜れば、水屋さんが配達にきて、四方山話に耳と目が起きた。「東京から来た人が何処の店が良いかと尋ねてきたが、答えは《店は玄関見たら判る！》と

返した」と。おっ、これは私たちにも当てはまる話やな！ 日々子どもたちを迎えるのに、玄関先にごみがあったり、掃除も久しからずであったり、枯れた鉢花がそのままだったり…。翌日一番に玄関に目を凝らした。大丈夫で良かった！ 氷屋さんの端的

な一言に人を迎える姿勢を教えられた気がした。今、各市町村も公立保育所が一般財源化され、公立を自前で維持するのに耐えられなくなり、民営化が府内でもすごい勢いで拡がっている。中でも人材確保が大変窮しているようだ。聞けば、自園の職員は一握りで、後は派遣職員で構成されている園もあるらしい。また、保育士の希望者も一つの少ない人間関係が苦手で、派遣職員を望む人などが関東地方では顕著になりつつあるらしい。

- ①障子紙に墨汁と割り箸で「お芋」を描き、その場で作ったタンポで色づけ
- ②障子紙にクレパスと水性ペンで葉っぱを描き、霧吹きを使ってにじませる
- ③乳児でも簡単にできる「クシャ染め」は絵の具と染める紙をビニール袋に入れて、クシャクシャともんでできあがり
- ④模造紙にタンポで背景を作る
- ⑤切り紙で人を作る



みんなのイメージをフルに活かして制作中

（玉串保育園 Y・N）